

豊岡病院跡地利用基本計画を策定



▲旧豊岡病院跡地に整備されることになった総合健康ゾーンのパース図

市では、旧豊岡病院跡地（立野地区）の利用基本計画を策定するにあたり、専門家、関係団体などによる検討委員会を設置するとともに、市議会や住民説明会での意見を踏まえ検討を重ねてきました。その結果、「生涯を通じた健康づくりを目指す『総合健康ゾーン』を整備すること」を整備目標に掲げ、豊岡病院跡地利用基本計画を次のとおり策定しました。今後、この基本計画に従って平成21年度の完成を目指し、本事業を推進していきます。

基本計画の概要

整備目標

近年、医療費の増加などが大きな社会問題となり、その削減に向けて「治療」「介護」から「予防」への転換が求められています。

また、私たち一人ひとりが心身ともに健康であるためには、バランスの取れた栄養摂取や適度な運動など正しい生活習慣の確立に取組む必要があります。

このため、本計画地に「総合健康ゾーン」を整備することにより、すべての市民の健康で生き生きとした暮らしの実現を目指します。

基本方針

●市民の積極的な健康づくりの実現

すべての市民が、健康な心と体をつくり、そして保ち続けられるように、積極的な健康づくりが実現できる総合的な取組みを図ります。

●市民の憩いや癒しの空間としての整備

高齢者や子育て中の親など、市民が屋外で安心して過ごすことができる場所となるよう、憩いや癒しの空間としての公園づくりを行います。

●市民の賑わいの場としての拠点整備

健康づくりや憩い・癒しの空間としての整備を図ること

導入する施設

により、市民の交流を促進し、中心市街地の賑わいを創出する施設を目指します。

●健康増進系

新たに整備する施設にエアロビクスやヨガなどができるスタジオ、25m×6コースの温水プール、有酸素運動や筋力トレーニングを行うトレーニングジムを導入するとともに専門家を配置し、個々の健康状態に応じた適切な運動プログラムを提供します。また、屋外にはウォーキングコースや健康づくり広場などを配置します。

●保健・福祉機能系

旧第6病棟を改修し、行政の健康福祉関連事務室、研修室、健康診断関連連室、調理実習室などを整備します。

●市民活動系

市民活動支援室や多目的室などを導入します。

●憩い・癒し系

屋外に緑豊かな公園を整備するとともに、リラクゼーションルームや温浴施設、軽食・喫茶コーナーなどを配置します。

市民の皆さんからの意見

基本計画の策定にあたっては、住民説明会（4月21日）やまちづくり車座座談会（4月29日）を開催し、市民の皆さんから貴重な意見をたくさんいただきました。その一部を紹介いたします。

施設整備について

Q もっと時間をかけて検討してはどうか

A 計画は、旧豊岡市および新市としても検討を重ねてきました。豊岡病院が平成17年5月に移転し、病院跡地周辺では賑やかさが失われてきています。中心市街地の活性化につなげるため、できるだけ早く整備したいと考えています。

Q 多彩な設備を設けるのではなくポイントを絞った施設づくりが必要ではないか

A 整備目標を「生涯を通じて健康づくり」としているようにすべての世代を対象とした施設となるよう、さまざまな機能を盛り込みたいと考えています。

Q 天候を気にせず室内で高齢者や母

A 健康増進ゾーンにエアロビクスなどが行えるスタジオの整備を計画しており、スタジオを利用して他世代が交流できる手法などを検討したいと考えています。また、周辺には総合体育館などがあり、役割分担や連携の方法などについて検討したいと考えています。

子がふれあえる場を設けてほしい

Q 健康増進ゾーンにエアロビクスなどが行えるスタジオの整備を計画しており、スタジオを利用して他世代が交流できる手法などを検討したいと考えています。

Q 障害者が利用しやすい施設をつくってほしい

A 段差を解消するなど、障害者はもとより誰もが利用しやすい施設となるよう、ユニバーサルデザインを取り入れます。また、新市のシンボルとなり得る風格のあるデザインや環境に配慮した施設にしたいと考えています。

Q 子どもたちが自由に安心して遊べるゾーンを整備してほしい

A 子どもたちの健全で安全な遊び場となるよう、自然・広場ゾーンの中で検討したいと考えています。

進入路について

Q 本施設への進入路についてはどのような計画があるのか

A 国道312号からの進入路（旧豊岡病院時代のメイン進入路）と、じばさん但馬方面からの進入路の2つを計画しています。じばさん但馬からの進入路は新設となるため、用地交渉などが必要となります。今後、地元の方々の理解と協力を得ながら、整備を進めていきたいと考えています。

Q 働いている人も利用しやすいように夜間運営などを検討してほしい

A 日中、働いている方が健康づくりや健康チェックなどで利用しやすいように、平日の夜や休日に利用できる施設運営を検討したいと考えています。

考えています。

Q 専門の指導者を配置してほしい

A 健康づくりなどにおいて専門的な知識や経験を有した指導者を配置するようになりたいと考えています。

その他

Q 若者の意見も十分に取り入れてほしい

A 新市のまちづくりにおいて若い人たちの意見を聞くため、市長を交えた「まちづくり車座座談会」を4月29日に開催しました。この会で若い世代の皆さんから本計画に関してさまざまな意見をいただきました。今後、これらの意見を参考にしたいと考えています。

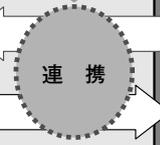


▲4月29日、「豊岡病院の跡地利用とまちづくり」をテーマに開催されたまちづくり車座座談会

【問合せ】企画課まちづくり係

健康増進機能
ライフステージに応じた健康増進機能の充実

- 子ども・青少年を対象とした健全な体づくり
- 中高年を対象としたメディカルフィットネス
- 高齢者を対象としたパワーリハビリ
- こころの健康づくり
- 健康な食づくり



- 保健・福祉機能
保健・福祉のステーション機能の充実
- 保健・福祉行政の一体的運用
 - 市域の保健・福祉の中核的機能
 - 予防医療・介護予防の推進
 - 健康づくりの支援・指導

医師・理学療法士・作業療法士・健康運動指導士などの専門家

施設機能イメージ図